

# 人にやさしい建築・住宅推進協議会 講演会

「コミュニティケアを推進する居住環境」 「行ける」より「行きたい」観光地へ

高齢者や障がいのある方、震災に遭い住まいや家族を失った方々など生活上の問題を抱えたさまざまな方々も、地域で暮らすこと、有意義な生活を送ることを望んでおられることは言うまでもありません。

そのために、公営住宅や公共施設、駅などのバリアフリー化、仮設住宅の建設、福祉サービスマンなど様々な取り組みが進められている一方、住民同士の助け合いなどコミュニケーションに関することにも注目が集まっています。

平成23年3月11日の東日本大震災で被災された方の多くは残念ながら高齢者であり、現在、多くの高齢者が仮設住宅で暮らしておられます。

今回は、東京大学大学院工学系研究科准教授の大月敏雄先生をお招きして、「コミュニティケア型」仮設住宅の先行事例をご紹介いただきながら、コミュニケーションケアを推進する居住環境のあるべき姿について、また、NP0 法人伊勢志摩バリアフリーツーアセンタの野口あゆみ事務局長からは、チェアカー（車椅子）の家族との外出から見えてきた、必要なサービスや観光地に求めるものなどについてご講演をいただきます。つきましては、ご多忙の折とは存じ上げますが、万障お繰り合わせのうえご聴講いただきたくご案内申し上げます。

◎ 日時： 平成 24 年 2 月 10 日 (金) 13:00 ~ 16:00

◎ 場所： 「独立行政法人 住宅金融支援機構 すまい・るホール」 (会場案内等は裏面参照)

◎ 参加費： 無 料 (申し込みは先着順で定員になり次第締め切りとさせていただきます)

◎ 講演： 1. 『コミュニティケアを促進する居住環境 (仮題)』

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻准教授 大月 敏雄 氏

【講師プロフィール】

1996年	東京大学	大学院工学系研究科	博士課程	単位所得	退学
1997年	横浜国立大学	工学部建設学科	助手、博士	(工学)	取得
1999年	東京理科大学	工学部建築学科	専任講師		
2003年	東京理科大学	工学部建築学科	助教授		
2008年	東京大学	大学院工学系研究科建築学専攻	准教授		

著書： 『3・11後の建築と社会デザイン』(共著) 平凡社新書  
『復興まちづくりハンドブック』(分担執筆) ぎょうせい  
『2030年超高齢未来』(分担執筆) 東洋経済新報社など

2. 『「行ける」より「行きたい」観光地へ (仮題)』

NP0 法人伊勢志摩バリアフリーセンター事務局長 野口 あゆみ 氏

【講師プロフィール】

2000年	任意団体伊勢ばりふり団	発足			
2002年	任意団体伊勢バリアフリーセンター	発足			
2003年	伊勢バリアフリーセンター	代表理事			事務局長就任
2005年	ソロプチミスト日本財団	「社会ボランティア賞」			受賞

お問合せ

人にやさしい建築・住宅推進協議会事務局 田中、佐藤

(財団法人建築技術教育普及センター内)

電話 03-5524-3105 FAX 03-5524-3223

URL <http://www.jaeic.or.jp/hyok/> (J-ネット掲載中)

「人にやさしい建築・住宅推進協議会講演会」 参加申し込み用紙

一コミュニティケアを推進する居住環境、「行ける」より「行きたい」観光地へー

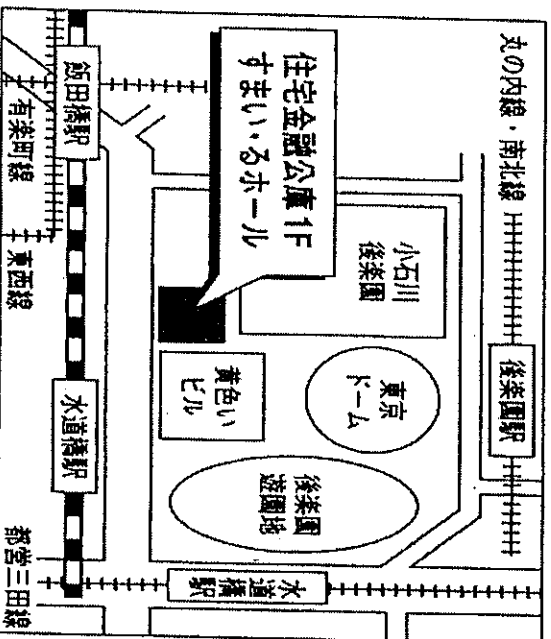
【送付先】 人にやさしい建築・住宅推進協議会事務局 田中・佐藤  
(財団法人建築技術教育普及センター)

FAX 03-55524-3223

貴社名・所属団体名	
参加者氏名	
電話番号	
FAX番号	
電子メール	*電子メールについては任意で記入してください。
	計 名

※ 【申し込み期限：平成24年1月31日（火）】 先着順で定員になり次第締切

《会場案内図》



《アクセス》

- ・JR総武線「水道橋駅」西口  
下車徒歩3分
- ・都営地下鉄大江戸線「飯田橋駅」  
下車徒歩3分
- ・都営地下鉄三田線「水道橋駅」  
下車徒歩5分
- ・東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園駅」  
下車徒歩7分
- ・東京メトロ有楽町線・東西線・南北線  
「飯田橋駅」下車徒歩10分